

## 平成9年度 汽水域研究センター研究員・客員研究員

## 汽水域研究センター研究員(学部・課題別)一覧表

(平成9年2月17日現在)

## 法文学部(研究員 14名)

職名	氏名	研究課題
教授	鬼頭 宏一	湖沼水質保全条例をめぐる問題
〃	岡崎 勝彦	地方自治行政と法的諸問題
〃	杉元 邦太郎	山陰地方諸地域の存立基盤
〃	田中 義昭	山陰地方における原始・古代集落の研究
〃	喜多 村正	出雲地域における民俗と地域性
〃	松尾 壽	近世山陰地域の研究 *
〃	竹永 三男	宍道湖・中海沿岸地域の社会文化環境に関する歴史的研究
〃	酒井 董美	山陰地方の口承文芸
〃	蘆田 耕一	神社奉納和歌集の研究
〃	水内 透	森 鷗外研究 *
助教授	堤 研二	山陰地域の地域特性の研究
〃	田中 則雄	山陰地方藩政時代における文学・思想
〃	金山 富美	日仏(欧)文化交流
助手	会下 和宏	山陰低湿地遺跡の研究

## 教育学部(研究員 10名)

職名	氏名	研究課題
教授	三保 忠夫	「島根県内農具図解」の研究
〃	林 正久	中国地方のテフラと地形発達
〃	坂本 一光	自然環境教育において水を主題とする意義
〃	山本 眞一	汽水域の生活経済
〃	銭本 健二	ラフカディオ・ハーン研究意義
助教授	山崎 亮	山陰地方の「民間信仰」研究
〃	野村 律夫	中型ペントスの生態・古生態および中海・宍道湖の環境解析
〃	大谷 修司	宍道湖・中海の藻類プランクトンの分類学的研究
〃	新井 映子	微量金属元素給源としてのシジミ貝殻利用技術の開発
講師	角 替敏昭	山陰地域の高温低圧型変成岩の成因について

## 総合理工学部(研究員 9名)

職名	氏名	研究課題
教授	山内 靖喜	宍道湖・中海周辺の中新世以降の構造運動
〃	高須 晃	汽水域基盤構成岩石の研究
〃	赤坂 正秀	山陰グリーンタフ地域における金属鉱床
助教授	小室 裕明	中海・宍道湖周辺の火山活動
〃	亀井 健史	汽水域における地盤工学的特性の解明に関する研究
〃	中山 勝博	汽水湖に流入する河川の堆積過程及びその堆積物の層序
講師	三瓶 良和	中海・宍道湖の環境変遷に関する研究
助手	大平 寛人	非海成堆積盆の熱履歴評価
〃	瀬戸 浩二	宍道湖・中海における底生有孔虫の研究

## 生物資源科学部(研究員 28名)

職名	氏名	研究課題
教授	宮田逸夫	山陰地方の植生 *
〃	山本廣基	土壌生態系における農薬の環境影響評価
〃	相崎守弘	湖沼の流域管理と水質改善手法に関する研究
〃	片桐成夫	斐伊川流域の森林の物質循環に関する研究
〃	若月利之	汽水湖の水質・底質と集水域の土壌特性
〃	井口隆史	過疎・高齢化と中山間地域振興
助教授	澤眞知子	汽水域における種分化機構の研究
〃	金子信博	土壌生態系における種間相互作用
〃	小池浩一郎	斐伊川水系の森林統合情報システム
〃	猪股 趣	農産物の生産と流通に関する研究 *
〃	渡部晴基	農山村過疎地域における地域産業複合化に関する研究
〃	伊藤勝久	源流域地域における農林業生産の社会及び自然環境に対する影響
〃	梶村光男	日本海南西部に於ける海藻の分類学的ならびに生物地理学的研究
〃	新村義昭	山地小流域における森林水文条件の研究
〃	藤居良夫	山陰地域における環境の予測と評価に関する研究
〃	星川和夫	水生昆虫の塩分耐性
講師	小池文人	汽水域における生物群集の研究
〃	秋葉道宏	ヨシ湿地の創出技術に関する研究
〃	佐藤利夫	汽水・海水圏における微生物相の変動について
〃	宇津田嘉弘	汽水域における野鳥等の生息実態とその特性について
〃	大森賢一	地域経済のモデル化とシミュレーション
〃	武田郁郎	集水域における水質水文環境
〃	杉村喜則	山陰地方の植生と植物相についての研究
助手	高畠育雄	河川・汽水域における魚類行動
〃	巢山弘介	汽水域における微生物の生態
〃	山本伸幸	森林の適切な利用・管理のための統計システムの確立
〃	鹿取悦子	斐伊川流域における資源管理と農山村経営に関する研究
〃	山下多聞	島根県地方における森林資源の保全に関する研究

合計 61名

任期：平成10年3月31日

(注) 研究課題中に\*印がある者の任期は平成9年3月31日まで

## 汽水域研究センター客員研究員一覧表

平成9年3月17日現在

氏名	所属	共同研究のテーマ(推薦者)
赤木三郎	鳥取大学教育学部教授	湖山池の自然環境学術調査(高安克己)
赤澤秀則	鹿島町教育委員会主任主事	汽水域の考古学的研究(竹廣文明)
安間恵	川崎地質(株)海洋調査部長	中海・宍道湖の音波探査法の開発(徳岡隆夫)
生嶋功	なし	水辺の景観に果たす水生植物の役割(國井秀伸)
井内美郎	通商産業省工業技術院地質調査所海洋地質部主任研究官	中海・宍道湖の形成史の研究(徳岡隆夫)
岩熊敏夫	総理府国立環境研究所生物圏環境部長	生物による水質浄化システムの構築(國井秀伸)
沖野外輝夫	信州大学理学部教授(理学部付属諏訪臨湖実験所長)	生物による水質浄化システムの構築(國井秀伸)
尾原和夫	島根県立大社高等学校教諭	宍道湖・中海集水域の昆虫群集による環境評価(星川和夫)
景山初美	なし	汽水域に於ける野鳥等の生息実態とその特性について(宇津田嘉弘)
鹿島薫	九州大学理学部助教授	汽水湖の形成と環境変化に関する研究(高安克己)
勝部昭	島根県教育庁文化財課長	山陰の低湿地遺跡の研究(徳岡隆夫)
神谷要	(財)中海水鳥国際交流基金財団指導員	汽水域の水生植物相(國井秀伸)
公文富士夫	信州大学理学部地質学科助教授	汽水湖の形成と環境変化に関する研究(高安克己)
越川敏樹	安来市立南小学校教頭	宍道湖・中海の水生生物相及び生態(國井秀伸)
小林巖雄	新潟大学理学部地球鉱物学科教授	汽水棲貝類の生態と殻体形成との関係について(高安克己)
西条八束	なし	汽水域の生態系に及ぼす人為的改変の影響(國井秀伸)
西城繁	宮城教育大学助教授	新生代後期の気候変動と海面変化(高安克己)
斎藤文紀	通商産業省工業技術院地質調査所海洋地質部主任研究官	中海・宍道湖の形成史の研究(徳岡隆夫)
坂之上一	なし	中海・宍道湖周辺域の古環境変遷(高安克己)
坂本巖	島根医科大学医学部助教授	ヤマトシジミの生態学的研究(高安克己)
貞方昇	北海道教育大学教育学部函館分校教授	汽水湖の形成と環境変化に関する研究(高安克己)
佐藤仁志	島根県立三瓶自然館指導課長	汽水域に於ける野鳥等の生息実態とその特性について(宇津田嘉弘)
須崎聡	千本電気(株)技術開発部取締役	中海・宍道湖の音波探査法の開発(徳岡隆夫)
田崎和江	金沢大学大学院自然科学研究科教授	水圏における微生物による自浄作用の研究(飯泉滋)
田中里志	京都教育大学助手	新生代後期の気候変動と海面変化(高安克己)
田中善蔵	なし	湖山池の自然環境学術調査(高安克己)
田中隆二	広島市立大学国際学部教授	日仏(欧)文化交流(金山富美)
土谷岳令	千葉大学理学部助手	水辺の景観に果たす水生植物の役割(國井秀伸)
中尾繁	北海道大学水産学部教授	塩分傾斜に伴う動物相の変化(高安克己)
中島拓男	滋賀県琵琶湖研究所総括研究員	生物による水質浄化システムの構築(國井秀伸)
中村幹雄	島根県水産試験場三刀屋内水面分場長	中海・宍道湖の生態学的研究(高安克己)
中本忠信	信州大学繊維部教授	生物による水質浄化システムの構築(國井秀伸)
新妻信明	静岡大学理学部地球科学科教授	汽水湖の形成と環境変化に関する研究(高安克己)
西尾克己	島根県教育庁文化財課主幹	山陰の低湿地遺跡の研究(徳岡隆夫)
西田良平	鳥取大学工学部教授	湖山池の自然環境学術調査(高安克己)
西村清和	通商産業省工業技術院地質調査所海洋地質部主任研究官	中海・宍道湖の音波探査法の開発(徳岡隆夫)
野津和功	鳥取女子短期大学助教授	中山間地域の現状と振興方策に関する実証的研究(井口隆史)
野原精一	総理府国立環境研究所生態機構研究室主任研究員	水辺の景観に果たす水生植物の役割(國井秀伸)
服部旦	大妻女子大学文学部教授	『出雲国風土記』島根半島部(島根郡、秋鹿郡、楯縫郡、出雲郡)における海浜・淡水域・汽水域水系の研究(蘆田耕一)
浜田周作	なし	異常気象と堆積作用の関連(山内靖喜)
平井幸弘	愛媛大学教育学部助教授	汽水湖の形成と環境変化に関する研究(高安克己)

氏名	所属	共同研究のテーマ(推薦者)
平野 芳英	島根県立八雲立つ風土記の丘資料館管理課学芸主任	汽水域の考古学的研究(竹廣文明)
廣邊 真澄	通商産業省工業技術院地質調査所海洋地質部研究員	生物による水質浄化システムの構築(國井秀伸)
福沢 仁之	東京都立大学理学部助教授	汽水湖体積物の高精度分析(高安克己)
福原 晴夫	新潟大学教育学部教授	生物による水質浄化システムの構築(國井秀伸)
古山 勝彦	大阪市立大学理学部助教授	中国・山陰地域の第四紀玄武岩類の地質学・岩石学的研究(高須晃)
益田 芳樹	川崎医科大学講師	汽水カイメン(宍道湖・中海に生息するカイメン)の生活史に関する研究(松野 輝)
松井 整司	なし	山陰地域の火山活動史(山内靖喜)
松井 章	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター主任研究官	汽水域における環境変化と人間活動史の研究(竹廣文明)
松本 英二	名古屋大学大気水圏科学研究所教授	汽水湖の形成と環境変化(徳岡隆夫)
箕浦 幸治	東北大学大学院理学研究科教授	汽水湖の形成と環境変化に関する研究(高安克己)
宮田 雄一郎	山口大学理学部助教授	中海、飯梨川河口のマッドランプ(徳岡隆夫)
森 忠洋	なし	生物による水質浄化システムの構築(國井秀伸)
山内 克典	岐阜大学教育学部教授	長良川における塩水遡上と汽水域生態系の研究(徳岡隆夫)
山口 佳昭	信州大学理学部地質学科教授	山陰地域の金属鉱床の構成鉱物と鉱化作用(赤坂正秀)
吉川 周作	大阪市立大学理学部助教授	完新統の火山灰層序(中山勝博)
淀江 賢一郎	財団法人島根県民会館主幹	汽水域の水生昆虫の分布・生態に関する研究(高安克己)
渡邊 正己	川崎地質(株)関西支社微化石分析所課長	汽水域沿岸遺跡の古環境復元(高安克己)

以上58名

## 編集後記

今年度も無事に LAGUNA (汽水域研究) の第4号を発行することができました。いつもながら年度末のあわただしい作業でした。このため、期日の限られた校正作業など、投稿された皆様にはご迷惑をおかけしました。ここに改めて皆様のご協力に感謝いたします。

さて、第3号は盛り沢山の内容でしたが、本号は通常のボリュームに戻っています。体裁はほぼ統一されてきましたが、まだ論文ごとに異なる体裁も残っています。次号からは編集委員のうえに編集顧問を置き、さらに充実した雑誌にする予定です。皆様のさらなるご協力お願い申し上げます。